



芥川 アクアピア上流にて



雉（アクアピア対岸の畑にて）



鶴殿の葦原焼き
 （今年は途中で中止になりました）

写真：高槻の風景（三ツ井さん・田中さん提供）

特集：市民会議グループ活動紹介

たかつき環境市民会議が誕生

環境活動グループが情報を交換したり、助け合ったりするための舞台となる「たかつき環境市民会議」が誕生しました。今までに2回の会議をひらき、活発な意見が交換されました。

第1回たかつき環境市民会議

「ワークショップで熱心な討議」

第1回目のたかつき環境市民会議が2002年10月6日（日）に高槻市民会館で開催されました。企画委員を含めて132名の会員が参加し環境市民会議が発足しました。会議の前半は近畿大学の久先生の講演と企画委員から「たかつき環境市民会議」の組織等について説明がありました。

後半では森林、生き物、学習、ごみ、地球環境などのキーワードに基づいて、8グループに分かれてワークショップを行いました。「一人ひとりの小さな取組みによって二酸化炭素が削減できる」「里山や水辺に関心がある」「環境出前講座を考えてはどうか」など時間を忘れるくらい活発に意見交換を行いました。



ワークショップの様子（第1回市民会議）



グループ発表（第1回市民会議）

第2回たかつき環境市民会議

「活動グループ立ち上げで議論百出」

第2回のたかつき環境市民会議は2002年12月14日（土）に高槻市総合センターで開催されました。この会議には108名が参加しました。企画会議から里山、水、オリジナルマイバックなど10の活動グループを提案し、グループ毎で意見のやり取りをする予定でしたが、これまでの経過について説明を求める意見が多く出、急遽全員で市民会議のあり方などについて意見交換を行いました。

「環境基本計画では環境行動、生活環境、自然環境等6本柱があるのに、どうして今回10グループを提案するのか」「環境の現状をふまえ、やるべきことを選び実行して行くことが大切でないか」などの意見が出ました。企画委員からは「6本柱は計画の柱であり、行動レベルではもっと具体的で興味が湧く活動を提案した。

「やるべきことという視点も大切であるが、多くの人に楽しく続けてもらうためにはやりたいことを重視した。などと回答しました。議論の中から「人にやさしい交通」のグループが新たに提案され、合計11グループで活動を始めることになりました。



意見交換の様子（第2回市民会議）

2月1日、第1回の会合を開きました。参加者は19名でした。
今、山は荒れています。その山を私たちの生活に身近な存在としてよみがえらせたい。
参加者は、皆切実にそう考えています。

「高槻みどりの回廊」を開設しよう

私たちの活動の第一は、だれもが山に親しめるようにしよう
ということでした。山の中に眠っている昔の街道、史跡を
よみがえらせよう。自然歩道、野鳥観察、巨樹見学など山には
山の楽しみがあります。

高槻には、樹林保護地区・保護樹林・保護動物など、
環境保全の制度ができています。これをもっと広く市民に
知っていただき、みどりの回廊につなぎたい。

市内にはすでに「里山ネットワーク」というボランティア
団体が結成され、保全活動を展開しています。このような団体
とは情報を交換し、連携を保つことができないか。

学習会について

里山の現況を知るために、2月12日、次の学習会を開きました。
環境アドバイザー 栗本 修滋 氏「森林・林業について」
出席者は19名でした。高槻の山や樹木について、豊富な事例に
基づいて具体的に聞くことができました。今後の活動指針にしたいと思います。

「森林組合」「(財)大阪みどりのトラスト協会」などとも連携ができないか、
今連絡しているところです。

永続的な里山の保全は、山が市民の生活と日常的なつながりをもつこと、
あるいは、樹木が産業資源として活用されるかどうかという点にかかって
いると思います。いずれにしても多くの人の参加と努力が求められています。

あなたも参加しませんか。まず、山を楽しむことから始めましょう。



山の中にも「丹波街道古道」「史跡 京坂越」など
昔の人の生活の跡が残っています

昭和四十年代はまだ秋の終わりから
冬にかけて、芥川周辺には沢山のホオ
ジロを見ることができました。

高槻のこずえにありて類白の
さへつる春となりけるかも
島木赤彦

高槻の山にドングリの実る木が
何種類あるでしょうか。
一緒に調べてみませんか。

第1回目の水グループは2/1(土)に集まりました。最初のことであり、出席者の方が日頃水のどんなことに興味を持っておられるのか、市民会議でどんなことを取り上げたいのか等意見交換をすることから始めました。

すべてを取り上げることは出来ませんが、まず水や生きものに関わる基本的な知識と高槻の水情報について、みんなで知識・情報の共有化をはかろうということになりました。

こうしてこれまで2回の学習会を持ちました。このページではその内容と今後の予定について紹介したいと思います。

「水質情報と生物の生育環境」

2/22(土) pm7:00~9:00 C601 会議室にて、清水晃氏から先ず白書や報告書に出てくる水質に関する環境用語についてくわしく解説して頂きました。また、高槻市内で見られるホタルを例にして、ホタルの生態、環境、エサであるカワニナの食性の他、芥川の藻類について紹介されました。

「生態系を活用した水辺環境の創出」

2回目の学習会は3/8(土) pm1:30~4:00 第2会議室にて、竹本克巳氏から高槻市で実際に浄化と親水空間創出を目的とした施工例が紹介されました。

ひとつは平成3年から3ヵ年計画で実施された清水池(津之江北町)整備事業と平成7年から3ヵ年計画で実施された小寺池(西五百住町)の整備事業についてです。

家庭雑排水で汚染され、アオコが発生し、周辺への悪臭発生源となっていた清水池は農水省補助事業として改修され、農業用水源、降雨時の遊水池そして親水空間創出を目的としたものでした。当時はたまった1mのヘドロを回収するためのバキューム車の進入路がなかったため、1年がかりでヘドロをセメントで固めたことやばっ気目的の噴水音が最初は周辺住民から耳障りだと苦情が来たことなど、裏話も紹介されました。

一方、小寺池は環境省補助事業、大阪府オアシス整備事業として実施されましたが、ここも生活雑排水が流入していた閉鎖水域だったそうです。北の端には小寺池図書館もあります。池の中央部の水中には木炭浄化装置(374m²)があるということも紹介されました。

工事に先立って、校区の小学生が学習の対象として、昔の小寺池について古老から話を聞いたり、どんな池に改修して欲しいか、イメージや絵を描いて貰ったことが非常に参考になったと言われました。池の端のあずま屋の下には当時4年生の子どもたちがタイムカプセルを埋めているという話も。

小寺池に植栽された植物は園芸種が多いのではとか、外来魚のリリリースで、釣堀風になることへの懸念、木炭の効果はどれ位持続するのか、下水道化が進むと折角整備した池への流入水がなくなるのではと質問や意見が出ました。

池や川の整備に際し、周辺の住民の声が反映されることは重要なことであり、またその後は愛着を持って周辺住民がその池や川にかかわる仕組みを作ることが大切です。高槻市内の河川は総延長550kmにもなるそうです。ただ、名神より下流域は天井川を形成しており、降水時には強制排水せざるを得ない地理的条件を持つ、すなわち川の横にはポンプ場が不可欠という“高槻”というまちの特徴を先人は知っていて、淀川や芥川の水を下流域や市内に流し、排水してきたわけです。高槻市内にはまだため池が154箇所もあるとのこと。かつての農業用水目的から遊水や親水機能を付加した水辺空間づくりも今後水グループのテーマとなりそうです。今回のお話はグループにとっても、ため池の実態を調べたり、どう活かしていくか考えていく上で大変参考になりました。

今後の予定

第3回3/29(土)「高槻の地形・地質と水の流れ」について森野氏から。「東部排水について」再び竹本氏から。第4回は日程未定ですが、小川力也氏から「イタセンパラ保護と淀川整備」についての講演を予定しております。乞うご期待。

オリジナルマイバッグ

～今までの内容～

オリジナルマイバッグのグループは、これまでに3回活動を行いました。活動では自己紹介や、他のマイバッグの事例収集、意見交換などを行っています。意見交換では

- ・ どのようにすれば継続して使ってもらえるか？
- ・ オリジナルマイバッグプランの骨格形成

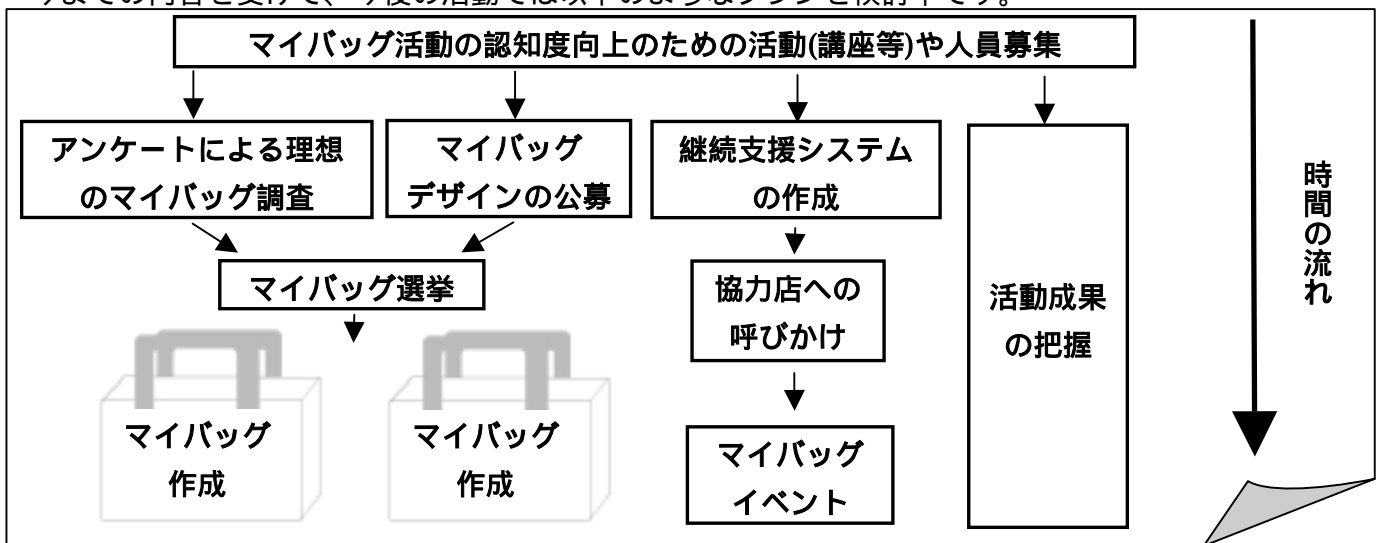
などなど根本的な問題から具体的な中身の検討まで行っています。

～これからの内容～

今までの内容を受けて、今後の活動では以下のようなプランを検討中です。



会議の様子



～新しくグループ活動に参加する人へ～

現在11のグループではこれまでに2~3回の活動を行っています。

重複して参加をしている方もいれば、まだどのグループにも参加していない方もいらっしゃいます。

参加していない理由として

- ・ 忙しいから
- ・ 話が難しそうだから
- ・ 1回目を参加してないので、2回目から参加しにくいから
- ・ 興味がなくなったから

このような理由だと思います。1つ目は解決不可能ですが、本グループは

**難しい話し合いはしない！楽しく行う！
実質、次の活動をスタートラインとする！**

としています。進行役である私自身も難しい話が嫌いで、途中から参加するのが苦手な性格なので、できるだけ、やわらかい話し合いや活動にしてゆくと共に、初めての人に参加しやすい雰囲気作りを進めてゆこうと思います。

第1回、第2回たかつき環境市民会議の話だけでは正直なところ、個々のグループのよさは全く見えていません。グループ活動は強制ではないので、一度だけでも覗いてみませんか？興味を持つ持たないは、そこから考えても決して遅くありません。オリジナルマイバッグでは多くの人の力を必要としています。

環境家計簿グループの活動について

このグループでは主として ” ストップ ザ 地球温暖化 ” を目的として、市民の生活スタイルをエコライフへ転換する活動を展開します。

現在、メンバーは9名で2回の会合を行ない、身近なところで、できるところから出発しようという方向が確認され動き出しました。

メンバーからはエコライフに取り組んで、環境家計簿を出してくれた方に、認定証を発行したり、節減した二酸化炭素に応じてエコマネーを出すような仕組みにしたいなど夢が膨らんでいます。

できるだけ早い時期に ” ストップ ザ 温暖化シンポジウム ” の開催も計画しています。いつでも参加OKですので、是非、ご参加ください。

活動の経過

環境ガイドグループでは、市内で環境活動をするグループの情報収集や紹介、高槻環境マップ作りなどの活動を通して、市民の視点から環境について発見し、それを市民の皆さんに紹介していけたらな、と思っています。これまでに2月2日に第1回グループ会議を行いました。2月19日には第2回、3月7日には第3回グループ活動をプレスグループと合同で行いました。

第1回グループ活動の様子

内容：どのような活動をしたいか、どこから取りかかるか etc.

高槻の環境マップ作り

マップ作りをイベントに！

毎回テーマを決め、参加者を募ってまちや山を歩きながらガイドのネタを発見していこう
まち歩きをすることにより、テーマにしたこと以外にも様々な発見があるはず！
仲間の輪も広がる！

マップのテーマ案

巨木、歴史、朝市（食と農）etc...

市内で環境活動するグループの情報収集・紹介

情報収集の方法

たかつき環境市民会議に参加しているグループに積極的な情報提供を求める
市民グループ数珠つなぎ ...取材したグループに他のグループを紹介してもらい、つないでいく
公民館や市のコミュニティ推進室から情報提供を受ける

発表方法

ある程度情報が集まってからまとめて発表するのではなく、随時行い、ストックしていこう
当面はプレスと連携していこう
プレスの発行するニュースレターの紙面を借りて、市民グループ紹介等を載せよう

第2回・第3回グループ活動の様子

内容：プレスグループと合同で、ニュースレター発行に向けた具体的な会議

上記のような経緯から、2回以降はプレスグループと協力して、ニュースレターやHP等の発表方法についての具体的な話し合いをもちました。何よりもまず、これまでに活発な活動が展開してきている市民会議の各グループ活動報告を行うためのニュースレターを発行することが急務！ということで、3月末の発行を目標に具体的な内容や役割分担などを決めていきました。

今後の活動

環境ガイド&プレスグループは基本的には**第3水曜日**に活動を行う予定です。
取材を通じて楽しい出会い・・・マップづくりから仲間づくりへ・・・ガイドグループは「情報」だけを扱うのではなく、発見すること、伝えること、さらには仲間の輪を広げること・・・そんなことが出来たらと思っています。皆さんのご参加をお待ちしています。

環境講座グループ

1. 会合

これまで以下の通り、3回の会合を持ちました。

- ・ H15-2-2 PM (土) 16名参加
- ・ H15-2-22 PM (土) 16名参加
- ・ H15-3-15 PM (土) 20名参加

2. 議論結果

これまでの議論で以下のコンセンサスが得られました。

環境講座の目的-think globally, act locally, 楽しく地球的規模で考えて、日々の生活態度を変えることにある。

- ・ 講座の対象-子供、学校の先生、一般市民、環境市民会議会員、企画会議委員
- ・ 講座のスタンスはあくまでも、日々の生活態度を考えて変えることに目的があるので、内容は出来る限り容易に理解してもらうように配慮すべきであろう。

今後の会議に於いて、以下の点について詳細検討する。

対象別の講座内容

日程

講師 等々。

- ・ 他のグループの進捗状況を確認しつつ、連携して講座を開設する。
- ・ 8月に ” 子供環境会議 ” を市と共同開催する。

3. 次回開催予定

- ・ H15-4-5 (土) 13:00-15:00
- ・ 議題-対象別講座の内容等検討

4. 御願い-女性の方々のご意見やありのままの考え方をもっと聞かせて頂きたいので是非、輪に入ってください。

当グループでは、楽しく和らいだ議論がモットーです。

目下 3-5名の女性が参加されています。宜しく御願います。

「エコビレッジ」グループは、これまで2回の会議を行いました。第1回会議10名、第2回会議13名の参加者を迎えて和やかな雰囲気の中で進められています。

夢があって雲をつかむような話ですが、それぞれの「村」に対する思いを持ち寄り、実現に向けて話し合いを重ねています。今はまだ手探りの状態ですが、これから徐々にその姿を現していきたいと思っています。みなさまの参加をお待ちしています。



今はイメージ抽出の段階です

地域の特性・歴史性を生かした村

- ・鎮守の森、小川、生き物
- ・昔の家庭生活

共同的な隣人関係

- ・地域通貨、エコマネー
- ・助け合いの仕組み

大地が呼吸する舗装

- ・浸透性舗装
- ・雨水利用

パーマカルチャー

- ・循環的農業（江戸時代）
- ・身近な衣食住の見直し
- ・暮らしの省エネトータルデザイン

分散型・生態系適合型のエネルギー供給システム

- ・太陽光発電、風力発電、ミニ水力発電
- ・バイオマスエネルギーの利用拡大
- ・ごみの再循環化

自然に適応し、生態学的に考慮された住宅計画

- ・自然素材を使った住宅
- ・地形や自然を生かした住まい
- ・景観を配慮した村

ビレッジ市民が主体となって、自らが楽しみ仲間を増やし、高槻全体を環境配慮型の社会に変える

地域住民と都市住民が協力しながら、活性化を図る

自然と共生した農作業や森づくりを行ない、生活をとおして体験し、楽しみながら自然の理解を深める



みんなで作る
たかつき
エコビレッジ

ごみ減量グループ

私たちの出したごみは年間に1世帯あたり600キログラム強です。

その費用は2万7000円強になっています。

私達グループでは、現在は高槻市のごみ処理の現状を知ることから始めていますが、
今後はごみの堆肥化、再資源化、リサイクル等々の活動を進めていきたいと
考えています。

市民として、自分達のできることを一緒に考えてみましょう。

沢山の人の参加を待っています。

エコ事業所活動グループ

グループの背景・目的

あらゆる事業所が環境問題への積極的な取組みを求められるようになってきています。しかし特に中小規模の事業所は様々な障害に阻まれその活動は思うように進んでいません。このグループでは、そういった問題の解決方法を模索しながら事業所が環境保全への継続的な取組みをしていくための効果的な仕組みをつくり、普及していきたいと考えています。

エコ事業所活動グループの活動

【第1回(1月28日)】参加者の間で意見交換し、問題意識の共有をはかりました。

(1) 事業所の活動が環境に与える影響について

地球温暖化、廃棄物、水質汚濁、大気汚染、悪臭、騒音、地盤沈下、自然破壊など

(2) 事業所が環境問題に取り組む意義・効果について

CO₂削減、省資源、廃棄物削減、地域住民の理解・支持、環境法規の遵守など

(3) 事業所が環境問題に取り組む場合の障害・問題点について

資金不足、ノウハウ不足、人材不足、ISO14001が難しい、メリットが不明など

(4) 事業所が環境問題に取り組む場合の対策について

アドバイザー養成、講座の開催、異業種間交流、税制上の優遇措置、簡易版ISOの普及、市の調達基準に環境への取組みを入れる、エコ事業所の表彰など

【第2回(2月12日)】活動の進め方について検討し、以下の通り進めることを確認。

(1) 市内事業所が環境に与えている影響の概要を調べる。

(2) 市内の事業所活動の概要を調べ、取り組む対象を検討する。

(3) 市内事業所の取組み状況や、全国的な動向、他市先行事例を調べる。

(4) 環境問題に取り組む場合の障害・問題点を調べる。

(5) 環境改善の目標を設定し、実行計画案を策定する(今後半年をめぐりに)。

(6) 実行とモニタリング。

【第3回(2月25日)】高槻市の環境の現状について調べました。

高槻市の商工業、農業の現状や、大気・水質・土壌・騒音等の概況について報告を受けるとともに、高槻市の事業所系ごみが増加傾向にあるという問題について話し合いました。

【第4回(3月11日)】市内のCO₂排出量と、環境取組み事例について調べました。

高槻市統計書などのデータから、市内の電力・ガス・一般廃棄物排出量の推移を確認しました。これら3項目とも増加傾向にあるため、今後その要因を解明していきます。また、KES環境マネジメントシステムスタンダード(中小企業版ISO)を取得した市内事業所の方から具体的な取組み内容やそのメリット等について紹介していただきました。

参加者の募集について

第2・第4火曜の夜7時を基本に約15名ほどで活動していますが、より多くの方にご参加いただきたいと考えています。一般の方はもちろん、何らかの形で事業所活動に関わっておられる方は是非一度ご出席ください。お待ちしております。

「いい街ですね高槻は！」

「そうですね。それに活気があるでしょ、買い物もし易いし、交通も便利になっているし。それに住み心地がとってもいいのよ。だけど7年前はそうではなかったらしいのよ。道は車で危ないわ、歩道は放置自転車でもとにも歩けないし、しかも段差がひどくて危険がいっぱい！だけど行政がしっかりしていてね、市民や事業者に協働を呼びかけて住みよい街にしようと頑張ってくれたのよ。中心地がモデルになってどんどん広がっていったのよ。よその市からの見学も多いんだって。」

.....
これは2010年春街角での会話でした。

いまもなおひたひたと確実に押し寄せてきている都市化公害に歯止めをかけ、みんなが住んでみたい快適都市作りを目指してその第一歩として 人にやさしい交通グループを立ち上げています。

一緒にやりませんか！

いままでの会議で出たプロジェクトは次の2つです。

- 1：中心市街地を 人が住みやすい生活空間にしよう 人が楽しく散策しながら買い物ができる街にしよう
- 2：桜公園から淀川河口まで芥川沿いに自転車で楽しく走れるようにしよう、そして途中所々に「憩いの場所」を作ろう

取りあえず1のプロジェクトからスタートしますが、2のプロジェクトに関心のある方、自転車で楽しく走れる市内の道路を探検しサイクルロードマップを作ってみようと思われる方、その他我々グループの目指すところに賛同される方は是非ご参加ください。

これからの会議の進め方

第1段階：中心市街地における交通問題の現状把握・問題点の抽出（高槻市バリアフリー基本構想委員会
が素案を作成したのでそれも参考にする）

なお第1回の会議で不法駐輪の問題が茨木市に比べて高槻はひどいという発言があったので高槻、茨木の状況を比較してみる

第2段階：問題点を解決するためにはどうしたらいいのか、

ハード面からの検討 ...たとえば歩道を広げる、駐輪場を増やす

ソフト面からの検討 ...たとえば進入禁止にする、片面交通にする、駐輪料金を引き下げる

なお商工会議所が 高槻市中心市街地活性化基本計画 を作りました。わたしたちのグループにもその計画づくりにかかわった人がいますのでその基本計画も参考にします。

たかつき環境市民会議

企画会議の活動をご紹介します！

企画会議は、平成 14 年 9 月に立ち上がり、これまで計 11 回の会議を行ってきました。

企画会議の主な役割は、みんなが集えて、意見交換ができる「たかつき環境市民会議」という会議を企画・運営することと、実際の活動として「グループ活動」を展開し、運営していくことです。

また、平成 16 年度をめぐりに、たかつき環境市民会議やグループでの意見交換・実際の活動を通して、高槻市環境基本計画の市民行動版となる「たかつきローカルアジェンダ 21」を作成していきます。

企画会議のメンバー

合計 26 名で活動しています

市民 13 名

学生 4 名

事業者・団体 5 名

高槻商工会議所、高槻市商業団体連合会、大阪府森林組合、高槻青年会議所、高槻農業団体 (T A F)

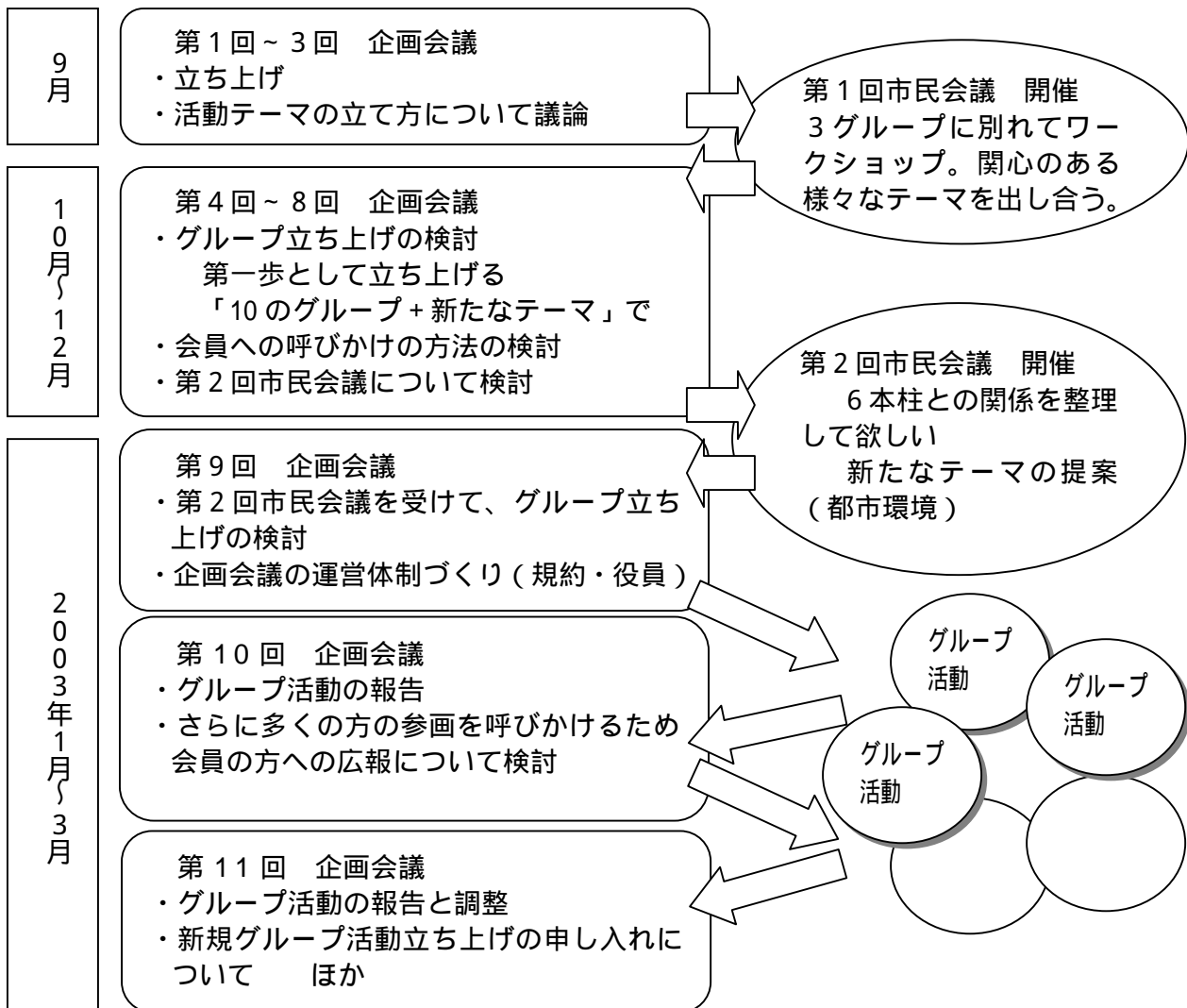
行政 2 名

環境管理室、市長公室

学識経験者 2 名

姫路工業大学教授、京都大学助教授

今までの活動経過



今後も、グループ活動がますます発展していくよう、企画・運営していきます！

たかつきECCOグループ紹介 NPO法人たかつき

第一回は阿武山の里山を拠点として、さまざまな活動を展開する『NPO法人たかつき』。代表の石神洋一さんよりお話を伺いました。

戦前より阿武山中腹には社会福祉施設があり、この里山は人々と深い関わりのある場所でしたが、近隣で開発が進むにつれ、人々との関わりは薄れていきました。こうした中、昔から環境問題への感心の深かった石神洋一さんは、アメリカの大学院で環境学を学び、数年間の緑化資材メーカー勤務を経た後、人と自然が共存する新しいライフスタイルを創造し提案していく為、平成13年5月に、自ら法人を立ちあげられました。



の会」の協力を得て行うログハウストづくり。そして、森林ボランティアの協力を得て行う、約2万坪という広大な面積に雑木林の広がる里山の保全。すべての活動の中で石神さんが心がけていることは、参加する方々が自ら主体となって愉しんでもらえる様にすること。そして、こうした活動を通して、健常者・障害者・高齢者・子どもを含むさまざまな人たちの経験・知恵をつなぎ、それに関わる多くの人たちと一緒に、自然と共存し、福祉の向上につながるライフスタイルを創り上げていくことです。今後の展開が楽しみな阿武山です。

(プレスG 山田)

現在の活動は、65歳以上の方を対象に行う街かどデカイハウス「晴耕雨読舎」での園芸福祉活動。地域の子供たちを対象に行う自然体験学校。タレント清水國明さんが代表をつとめる、自然暮らし

このコーナーでは環境活動に携わる団体をご紹介します。いきなりと思いません。

編集後記

桜の蕾も大きくなり、春の訪れが感じられる様になりました。環境市民会議で11のグループ活動が始まって2ヶ月が経ちそれぞれのグループ活動が芽吹き始めております。

これからは広報誌「エコ&エコー」で各グループの活動を紹介すると共に広報（後方？）支援して行きます。現在は環境市民会議「プレスグループ」と「環境ガイドグループ」が協力して編集に当たっています。14名のメンバー全員が素人でネーミングから写真・取材・構成等すべてが初めての経験です。

今後は「エコ&エコー」を充実させる一方で「ホームページ開設」にもチャレンジして行く予定です。是非、ご期待下さい。

興味のある方の参加をお待ちしております。

たかつき環境市民会議 グループ活動等スケジュール

日 時	グループ活動	場 所
3 / 29(土) AM 10 時 ~	オジ・ナルバ ッグ	市民会館南中会議室 1
	PM 2 時半 ~	水 C-601 2
4 / 5 (土) AM10 時 ~	エコビレッジ	アピア集合 (見学・遠足します)
	PM 1 時 ~	環境講座 市民会館南中会議室 1
	PM 3 時 ~	ゴミ減量 生涯学習センター 3
4 / 15(火) PM 7 時 ~	企画会議	生涯学習センター 3
4 / 16(水) PM 7 時 ~	プレス&ガイド	C-601 2

- 1 市民会館の南隣にあるプレハブの1階
 - 2 高槻総合センター6階
 - 3 高槻総合センター内（3階）
- 不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先 たかつき環境市民会議 事務局

高槻市環境政策課 高槻市桃園町2番1号 TEL:072-674-7483 / FAX:072-661-3198

アルパック(株)地域計画建築研究所 大阪市中央区城見1-4-70 住友生命OBプラザビル15階

TEL:06-6942-5732 / FAX:06-6941-7478